



(写真) Comando Con Vzla “MCM 陣営 国際社会のベネズエラ大統領認識を图示”

世界のベネズエラ大統領認識

50カ国がゴンサレス候補の当選を認識

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

1月18日 「Comando Con Vzla」は、以下のよ
うなメッセージと共に国際社会のベネズエラ大統領
認識状況を公表した。

1 月18日、マリア・コリナ・マチャド氏(以
下、MCM)政治キャンペーン公式アカウント
「Comando con Vzla」は、ベネズエラの大統領に関す
る国際社会の認識状況について公表(上地図)。
ゴンサレス候補をベネズエラの当選大統領と認識し
た国は世界で50カ国。マドゥロ大統領は46カ国
と発表した。

世界の民主主義国は我々と共にある。

*世界の民主的な50カ国はエドムンド・ゴンサレス
を我が国の当選大統領と認識し、支持している。*

この認識には疑問もあるが、少なくとも MCM 陣営は
この地図のように友好国・敵国を認識しているとも
言える。本稿では、この地図を確認し、MCM 陣営が各
国をどのように認識しているのかを確認したい。

*ベネズエラの大義に国境はない。今日も国際社会は
7月28日に示された国民の民意を認めない政権に
よるクーデターを拒絶している。*

ニコラス・マドゥロは大統領ではない。これは誰もが知っている。我々は行動を起こさなければいけない。強権政治に終止符を打ち、権力から降ろす必要がある。

マドゥロを支持することは、権力にしがみつ়く犯罪者と独裁者を支持することだ。

左下の図には、地域別で「エドムンド・ゴンサレスを当選大統領と認識し、支持している国」「ニコラス・マドゥロを当選大統領と認識し、支持している国」「棄権している国」の数を記載している(赤い点線で囲まれている部分)。

その地域別の認識状況の内訳は以下の通り。



<米州>

エドムンド・ゴンサレス：13カ国
ニコラス・マドゥロ：10カ国
棄権：5カ国

<欧州>

エドムンド・ゴンサレス：33カ国
ニコラス・マドゥロ：4カ国
棄権：1カ国

<アジア>

エドムンド・ゴンサレス：1カ国
ニコラス・マドゥロ：15カ国
棄権：1カ国

<アフリカ>

エドムンド・ゴンサレス：1カ国
ニコラス・マドゥロ：17カ国
棄権：0カ国

<オセアニア>

エドムンド・ゴンサレス：2カ国
ニコラス・マドゥロ：0カ国
棄権：0カ国

(写真) Con VZLA Comando X

ベネズエラ大統領認識 国名リスト

上図で明記されているのは国数だけで、国名は記載されていないが、地図を見れば、「エドムンド・ゴンサレスを当選大統領と認識し、支持している国」、「ニコラス・マドゥロを当選大統領と認識し、支持している国」、「棄権している国」が分かる。

以下は、MCM 陣営が公表した地図から確認した国別のベネズエラ大統領の認識状況である。

<米州>**ゴンサレス氏を大統領と認識している国 (13):**

エクアドル、チリ、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ、ガイアナ、パナマ、コスタリカ、グアテマラ、ドミニカ共和国、米国、カナダ、エルサルバドル

マドゥロ氏を大統領と認識している国 (10):

キューバ、ホンジュラス、ニカラグア、ボリビア、サンタルシア、セントビンセント・グレナディーン諸島、モーリタニア (3カ国は不明)

棄権している国 (5):

メキシコ、コロンビア、ブラジル、スリナム (1カ国は不明)

<欧州>**ゴンサレス氏を大統領と認識している国 (33):**

ベルギー、チェコ、デンマーク、ドイツ、アイルランド、ギリシャ、フランス、イタリア、キプロス、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、ハンガリー、マルタ、オランダ、オーストリア、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロヴェニア、

スロヴァキア、フィンランド、スウェーデン、英国、アイスランド、アルバニア、ボスニアヘルツェゴビナ、北マケドニア、コソボ、モンテネグロ、ウクライナ、リヒテンシュタイン、ジョージア

マドゥロ氏を大統領と認識している国 (4):

ロシア、ベラルーシ、セルビア (1カ国は不明)

棄権している国 (1):

スペイン

<アジア>**ゴンサレス氏を大統領と認識している国 (1):**

イスラエル

マドゥロ氏を大統領と認識している国 (15):

中国、北朝鮮、台湾、ベトナム、ミャンマー、ラオス、インドネシア、パキスタン、トルコ、イラク、シリア、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、クウェート、イラン

棄権している国 (1):

日本

<アフリカ>**ゴンサレス氏を大統領と認識している国 (1):**

モロッコ

マドゥロ氏を大統領と認識している国 (17):

アルジェリア、モーリタニア、マリ、リビア、スーダン、南スーダン、エジプト、コンゴ共和国、アンゴラ、ナミビア、マダガスカル、モザンビーク、ジンバブエ、ニジェール、ブルキナファソ、エリトリア、カーボベルデ

<オセアニア>

ゴンサレス氏を大統領と認識している国(2):

オーストラリア、ニュージーランド

米州：ペルーは大統領認識の表明なしか

このベネズエラの大統領認識図には、いくつかの疑問点がある。

米州は、小さな島国もカウントしているようで、地図を見る限りでは、「マドゥロ氏を大統領と認識している国」で3カ国、「棄権している国」で1カ国は、どの国を指しているのかを判断することは出来なかった。

また、「ゴンサレス氏を大統領と認識している国」にペルーが入っていないが、ペルーは積極的にゴンサレス候補を支援している方の国なので、同国をカウントしていないのは意外な印象を受けた。

欧州：カウント基準が不明

欧州については、「ゴンサレス氏を大統領と認識している国」の数が多すぎるのではないかと考えている。筆者が知る限り、「ゴンサレス氏を当選大統領と認識する」と明言した国は、英国とイタリアだけだ。

欧州の国は、基本的にゴンサレス候補を支援する立場であることは間違いないが、当選大統領の認識まで踏み込んで表明した国はほとんどないはずだ。

ちなみに、欧州議会は、エドムンド・ゴンサレス候補が民主的に選ばれた正当なベネズエラ大統領と認識することを承認した(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1118](#)」)。ただし、これはEU各国の政府認識とは別である。

最初は、上記EU議会承認を理由に、EUの全加盟国を「ゴンサレス氏を大統領と認識している国」にカウントしたのかと思ったが、地図を確認したところ、EU加盟国の中でスペイン、ブルガリア、エストニア、クロアチアは含まれておらず、単純にEUの全加盟国をカウントしたわけでもないようだ。

アジア：MCM陣営、暗に日本への不満示す

最初に言及すべきは「日本」だろう。

日本は、アジアで唯一「棄権している国」にカウントされている。

欧州では、スペインも「棄権している国」にカウントされている。

実際のところ、ベネズエラの大統領認識について棄権している国はたくさんある。敢えてスペイン、日本を挙げるのは、両国に対するMCM陣営の不満の表明と捉えることが出来る。

他、「台湾」が「マドゥロ氏を大統領と認識している国」にカウントされているが、(米国政府との関係を重視する)台湾の政治的な立ち位置を鑑みると、台湾がマドゥロ政権を支持するように思えない。単純に、MCM陣営は中国と台湾を区別しなかったということなのかもしれない。

また、インド政府は、大統領選以降もマドゥロ政権と積極的に外交関係を維持しており、実質的に「マドゥロ氏を大統領と認識している国」あるいは「棄権している国」に該当するのではないかと思うが、地図ではそのどちらにも分類されていない。

野党 日本の支持表明を強く望む

全体の統括として、MCM 陣営の認識は「アフリカ・アジアの経済規模の小さな国でマドゥロ政権を認める国が比較的多いので、トータルの認識国の数では拮抗している」
「ただし、先進国（経済規模の大きな国）のほとんどがゴンサレス候補を当選大統領と認識している」というものになりそうだ。

ベネズエラと経済的な関係が強い国の多くは、経済規模の大きな先進国であり、これらの国のほとんどがゴンサレス候補を支持していることを意味する。

また、MCM 陣営は「ゴンサレス候補への支持を明確にすることを期待しているが、支持を表明にしない国」について、「棄権している国」にカウントしており、その中には、ブラジル、メキシコ、コロンビア、スペインと並んで日本も含まれている。

日本にとってベネズエラは遠い国であり、わざわざ大統領の認識を表明してマドゥロ政権と問題を抱えるのは避けたいのが本音だろうが、野党陣営としては「アジアの先進国」である日本の明確な支持表明は是非とも欲しいのだろう。

以上